

オーストラリア ブドウ産業は不確実性の高いシーズンを乗り切る

FreshPlaza 2023年11月30日

オーストラリアの農業部門に不可欠なブドウ産業は、現在、不確実性に満ちたシーズンを迎えている。オーストラリア・ブドウ・ワイン協会のリー・マクリーン会長が、この生育期間、市場の動向、さらにこの困難な時期における業界の適応力についての見解を披露した。(以下「」は同会長の発言からの引用)

「今シーズンのブドウ栽培に及ぼす天候の影響はまだ不明である。」ブドウの収穫は、「内陸部とハンターバレー地域で1月に始まり、4月か5月まで全国で続き、」さまざまな地域的な状況の影響を受ける可能性がある。昨年の収穫量は「約130万トンで、記録上最も小さいものの一つであった。」これは主に「涼しく雨の多い天候が続いたこと」によるもので、今年の予想の背景となっている。

今シーズンについてマクリーン氏は、「今、窓の外を眺めると、ここキャンベラでは適度に涼しく、雨が降っている。昨年よりもブドウ生産者にとって良い環境が整うことを願っている」と言う。この発言は、予測不可能な自然に対する業界のアプローチの特徴である慎重な楽観主義を良く表している。

同氏はまた、オーストラリアのブドウ生産の主要産地についてとりあげる。「内陸部の3つの地域 - 南オーストラリア州のリバーランド地域、ビクトリア州のマレーバレー地域及びニューサウスウェールズ州のリバリーナ地域 - が主要産地であり、ブドウ生産量の約70%を占めている。」これらの地域は出荷量が多いものの、オーストラリア国内の冷涼な気候の地域と比べると、通常、生産するブドウの価値は低い。

国内出荷及び輸出の面では、「他の農産物と同様に、生産物の約60%を輸出している。」同氏は、「その輸出依存のために、我々は実際にかなり深刻な供給過剰に陥っており」、特に赤ブドウの需要に影響を与えていると指摘する。この状況は、業界内の構造的な問題のほか、賦課される関税のために輸入が激減した中国など、主要な輸出市場の喪失が一因となっている。

これらの課題に対応するため、同協会は、業界を支援し、維持するという確固たるコミットメントを堅持しており、相当な数のブドウ生産者を代表し、ブドウの栽培と販売に有利な環境を作り出すことに尽力している。

マクリーン氏は、同協会の役割を強調する。「当協会は、団結の促進と、業界をサポートするための戦略の策定に重点を置いている。」この取り組みは、オーストラリア産ブドウの評判を維持し、業界の長期的な持続可能性を確保する上で極めて重要である。

マクリーン氏の見解は、オーストラリアの農業の成功に不可欠なブドウ産業の課題と適応力の両方を反映している。ブドウ産業がこの難しい季節を乗り切る上で、今後数か月は非常に重要である。全国のブドウ生産者は、自然と世界市場の両方の変動する動きの中で、それに適応して繁栄する態勢を整えており、シーズンがどのように展開するかを見守っている。